

鈴木あつこ

群馬県議会議員
(高崎市区)
立憲民主党公認

あなたとつくる子どもたちの未来



あなたが困った時、
真っ先に顔が浮かぶ議員に
になりたい

補欠選挙で初めて県議会に送り出され、早くも約1年3カ月が過ぎました。新聞記者時代から社会的に弱い立場に光を当て、「生きづらさ」の解消につながるよう力を注いでまいりました。
誰もが安心して笑顔で暮らせる地域社会、
とりわけ「声が小さい人」や「声の上げ方すら分からない人」の声をしっかり拾い上げられる社会をつくるために、これからも一人ひとりに寄り添って、誠心誠意とりくんでまいります。

子どもに優しく子育てを楽しめる社会

- ・子どもを虐待やいじめ、性被害から守ります
- ・子どもの不慮の事故や自死等を防ぎます
- ・妊娠中、子育て中の親の孤独・孤立を防ぎ、困難に寄り添います
- ・男女ともに子育てと仕事を両立できる環境を整えます

教育の現場を大事にする社会

- ・障がいのある子とない子がともに学べる「インクルーシブ教育」を推進します
- ・家庭の経済格差が教育格差にならないよう支援します
- ・教員の働き方改革や、学校と地域の連携を推進します

マイカー無しでも安心な社会

- ・公共交通を維持・拡充し、デマンド交通を普及させます
- ・買い物支援や訪問診療など身近なサービスを増やします
- ・中高生の自転車事故率全国ワースト1位の返上に向けて安全な通学環境を整えます

何があっても大丈夫な社会

- ・介護や看護に関わる家族の負担を軽減します
- ・医療・介護・福祉現場の人手不足解消に取り組みます
- ・生活困窮者を臨機応変に支援します

ジェンダー平等で多様性にあふれた社会

- ・性別による賃金や雇用形態の格差是正を目指します
- ・障がいの有無や出身地、国籍などの差別の解消を目指します
- ・動物にも優しく、犬猫の殺処分をゼロにします

◇プロフィール◇

1981年生まれ。奈良女子大学卒業後、派遣社員を経て2005年に毎日新聞社に入社。前橋支局で記者生活をスタート（以来、群馬県在住）。東京本社を挟んで2016年から再び前橋支局。近年は主に行政分野を担当した。2021年に退社し同年の補欠選挙で初当選。家族は夫と子ども2人。思春期まっただ中の娘とやんちゃ盛りの息子に日々振り回されている。就職氷河期世代。

◇資格◇ 博物館学芸員

中学校／高等学校教諭一種免許状（英語）

◇好きなもの◇

古墳、遺跡、ソフトボール、ラグビー。好きな言葉は「個人的なことは政治的なこと」



後援会ご入会用
QRコード